

訪問診療成功への道

～食べさせてくださいに～

2日間コース

11/3 日・祝 | **11/4** 月・振

講師 **黒岩 恭子先生**
加藤 武彦先生

時間 1日目▶13:00～17:00
2日目▶9:00～16:00

※1日目 懇親会／2日目 お弁当付き

参加費 20,000円 (2日間)

※懇親会：別途費用 4,000円

定員 40名

今、歯科界では、オーラルフレイルや健康寿命の延伸などが、取り上げられるようになりましたが、私たち二人は30年前より訪問診療を手掛け、患者さんやその家族からの「食べられるようにしてください」という要望に応えるため、口腔ケア・口腔リハビリをおこなって、噛める義歯を作り「食べるところまで診るまで帰ってこない」をモットーに診療をしてまいりました。そのためには、黒岩恭子先生は“くるリーナブラシ”を開発し、とうとう口腔ケアから咽頭ケアまでおこなうようになり、肺炎で入院する患者さんが激減しました。また、私は、超高齢社会で顎堤吸収の強くなった患者様に、従来法ならば交差咬合排列をしなければならぬような難症例を、天然歯の元あった位置に人工歯を排列しても転覆しない“デンチャースペース義歯”を開発し、噛める義歯を作りました。ですが、訪問診療では嚥下障害や認知症など、口腔以外の問題も多くあり、訪問診療を成功させるためには、どのようにこれらを勉強し、いかに訪問診療に役立てたのかをお話させていただきます。(加藤武彦)



講師／黒岩 恭子(くろいわ きょうこ)
村田歯科医院(神奈川県)
全国訪問歯科研究会(加藤塾)所属

講義内容

- ① なぜ“くるリーナブラシ”を開発したか
- ② “くるリーナブラシ”や、オーラルケアで、舌・頬・口唇のリハビリ
- ③ 咽頭ケアにより、痰を取り、肺炎の激減に努める



講師／加藤 武彦(かとう たけひこ)
加藤歯科医院(神奈川県)
全国訪問歯科研究会(加藤塾)主宰
NPO法人在宅ケアを支える診療所・
市民全国ネットワーク歯科部会 理事

講義内容

- ① なぜ“デンチャースペース義歯”でなければいけないか
- ② 診療室となるべく同じ器具機材で
- ③ 患者さんの半数は認知症の方と思い、その人の気持ちを理解して診療にあたる

会場

※全コース共通

メディナセミナールーム

横浜市港北区新横浜2-11-5 川浅ビル7F

■最寄駅：JR 新横浜駅から徒歩8分、
市営地下鉄新横浜駅から徒歩7分

弊社ホームページよりお申込みいただけます。(FAXの場合は申込書をダウンロードしてください)

お申し込み方法

<http://www.medina-group.jp>

技工所

FAX.045-565-9009

ホームページの「申込みフォーム」からもお申し込みいただけます。